



吉川育英会だより



～友の会（OB会）会員からの近況報告～

Vol.8

クム ユンヒ (韓国)
所属 九州大学



～後輩へ一言～

「参加する今の瞬間を感謝しながら楽しんでください」

● 吉川育英会での思い出と近況報告

☆ 吉川育英会との出会い

私は2014年5月に吉川育英会と出会いました。私は大学院生として、毎日研究およびアルバイトでとても忙しい日々を過ごしており、身体的にも精神的にも疲れていました。しかし、より研究に専念したいと思っていました。その時、吉川育英会の奨学生募集の情報を見つけ、応募することになりました。書類審査および面接を経て、吉川育英会の奨学生になった時はとても嬉しかったです。

☆ 吉川育英会での思い出

研究室、図書館、家を往復しながら毎日を過ごしていた私にとっては、毎月1回行われた吉川育英会の奨学生の集いはとてもよい息抜きの時間になり、今も懐かしい記憶として残っています。日本に家族も親戚もない外国人の女性として一人で留学しながら、研究室の仲間は私的では仲良しでしたが、研究においては競争的な雰囲気、私は日本で精神的に頼る人があまりいませんでした。

私にとって、毎月行われる吉川育英会の集いは心が温くなる時間でした。研究室と家を往復していた日々から離れ、電車に乗って八幡駅まで行きながら電車の外の風景を見たことはまるで旅行するような気持ちでわくわくしました。

昼食会の時も、吉川副社長から『最近急に寒くなってきましたので、皆さん、ぜひ風邪など引かないように気を付けてください』など温かい言葉を聞き、心が温かくなり守られているような気持ちでした。吉川育英会の他の役員の方々と奨学生たちに会うのも家族と親戚に会うような気持ちになり、とても心が温かくなりました。

工場見学、安川電機訪問、皿倉山登山などの行事に参加したこともとても楽しい息抜きの経験になりました。文系の大学院生として、工場や電気会社を見学する機会はなかなかありませんでしたので、とても興味深くいい経験でした。皿倉山登山の時は、みんな一緒にケーブルカーに乗って山に登り、霧の深い風景を見たことが印象的に記憶に残っています。

◆ 研究成果およびこれからの抱負

現在、私は引き続き研究に夢中になっており、博士論文に向かって頑張ろうとしております。研究成果としては、心理学分野で、ある有名な理論において、その理論の仮定の一部は現実では適用されないことを実際のデータ分析結果を用いて証明しました。

◆ 最後に

奨学生の皆さん、吉川育英会の集いに参加する今の瞬間を感謝しながら楽しんでください。今の瞬間はあっという間に過ぎてしまい、とても懐かしい思い出になります。またみんなで集まることを楽しみにしております。



九州大学正門前で



福岡市内で仲間たちと一緒に
※クムさん：一番左



トパシ ギャネンドラ ナ (インド)
九州工業大学 卒業



～後輩へ一言～

「出会いを大切に！」

● 育英会の思い出と近況報告

▼ 学生時代と吉川育英会

九州工業大学博士号2年に入る時に、2つの心配することがありました。一つは奨学金がなかった、2つめは博士研究も上手くなれなかったということでした。吉川育英会の選考の中で問題は、日本語での面接でした。日本語の勉強はまだ一年しか経っていませんでしたので、日本語の面接は非常に難しいと思いました。その時、名古屋の日本人の友達が、面接の練習を手伝ってくれました。諦めず練習を重ね、5月に面接後に吉川奨学生になりました。そして、博士号2年と3年は、日常生活費の問題も無くなり、研究に集中して、博士号を取得し卒業することができました。

▼ 研究と勉強以外

「人間は社会的な動物である」と言います。趣味をもち様々な方々と知り合う機会を大切にしました。趣味としてはテニス、料理と瞑想です。

料理の趣味に関しては、学研ボランティア会にて「わいわい日本語」というイベントに参加し、インド料理チームで発表を行いました。テニスの趣味では、3年間九州工大のひびきのテニス会で活動しました。それ以外は、小倉のわっしょい百万夏まつりと起業祭に登場した「八幡東ねぶた」に参加したことがあります。北九州は日本で私の故郷であり、いつまでも記憶に残る場所です。

▼ 卒業後は・・・

私は自然に近い静かなところに住みたいと思っており、東京へ引越す時心配しました。しかし今住んでいる東京都内の小平市という場所は人が混んでる所ではないので静かいい場所です。

この一年は会社の新入社員として新人研修を終えたところです。研修では、技術と管理的なスキルを学びました。今後の仕事で活かしていきたいと思えます。

会社での人間関係を円滑にする日本語の使い方が難しく、誤解を招くことがありました。その為、もっともっと日本語勉強するつもりです。公私のバランスを充実させるよう、テニス、料理そして瞑想の趣味を続け、これからも頑張ります。

▼ 最後に

吉川育英会の皆さんも、趣味や学内活動などで、いろんな方との関わりを大切にしながら、頑張ってください！



FAIS(学研都市、若松)日本語クラスの仲間



墨絵を描くギャネンドラさん

